

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

公共事業入札談合は、納税者である国民・県民の利益を阻害する違法行為であることを鑑み、深く反省するとともに、再発防止に向け令和元年7月16日開催した株主総会において、あらためて経営理念を再構築することにつき下記の通り決議した。

- ①関連法令の理解・遵守のため協会等で行われる講習会への参加
- ②地域貢献に対する積極的な取り組み
- ③災害対策に備えた重機等の維持
- ④事業の高度化、効率化のため機器の購入及び整備
- ⑤従業員の生活安定のため賃金見直し

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反することがないように自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和 3 年 7 月 29 日～令和 4 年 3 月 31 日

(2) 取組の趣旨

関連法令等の理解を深め、法令遵守の徹底及びそれを実行するための社内体制を構築する。

(3) 活動の概要

- ① 法令遵守及び関連法令・ガイドライン等に関する講習会への参加
- ② 社内にて法令遵守等に関する勉強会の実施

(4) 主な活動の詳細

① 講習会への参加

実施日： 令和 3 年 11 月 16 日

実施場所： (一社)塩山建設業協会

内容： 法令遵守に関する講習会

参加者： 代表取締役 XXXXXXXXXX

効果：関連法令の理解を深め、独占禁止法違反に関して改めて考えなおすことができ、法令遵守徹底に対する意識を高めた。

② 社内勉強会の実施

実施日： 令和3年11月20日

実施場所：会社事務所

内容： 法令遵守に関する勉強会

参加者： 代表取締役 ██████████ 他従業員 4名

効果：法令遵守講習会の内容を社内共有することにより、法令遵守に対する社内体制を構築した。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 講習会への参加 人件費	20,000	1人×20,000円
② 社内勉強会 人件費	100,000	5人×20,000円
合計	120,000	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する取り組みの報告

(1) 取組期間 令和 3 年 7 月 29 日～令和 4 年 3 月 31 日

(2) 取組の趣旨

地域の防災・減災に対する取り組みとして平時にどれだけ多くの備えを行えるかが重要と考える。建設業という立場から地域に貢献できる事として以下の事業を実施する。

- ・防災拠点の設置、改善に対する取組
- ・土砂災害等の自然災害のリスク低減に関する取組
- ・有事の際の地域住民との相互連携を図ることのできる関係性の構築
- ・地域住民の自然災害に対する安全、安心の確保

(3) 活動の概要

① 山梨市万力地内消防ポンプ小屋周辺道路整備

山梨市消防団山梨分団万力のポンプ小屋新築工事が実施され周辺道路整備を万力 1 区 2 区 3 区の区費で改良する話があり無償で施工した。

② 山梨市万力地内遊休農地圃場整備

地元農家から近隣の畑が荒廃していて農産物への悪影響が発生しているとの相談を受け、遊休農地のほ場整備を無償で実施した。

(4) 主な活動の詳細

① 山梨市万力地内消防ポンプ小屋周辺道路整備

実施日： 令和4年2月1日～令和4年3月31日

場所： 山梨市万力地内

内容： 新設消防ポンプ小屋建築に伴い隣接道路の拡幅および舗装工事の実施

着手前



完了後



効果： 地域防災拠点となるポンプ小屋周辺の法定外道路を整備することにより有事の際に活動する従事者が有効利用できるスペースを確保できた。また、地域との連携を深めることができた。

② 山梨市万力地内遊休農地ほ場整備

実施日： 令和3年11月8日～令和4年3月30日

場所： 山梨市万力地内()

内容： 遊休農地を開墾してほ場整備、ぶどう棚設置、ぶどう苗定植を実施

耕作者： (ぶどう栽培)

着手前



完了後



効果： 荒廃農地の改善を実施することにより土砂災害等のリスク低減することができた。また、地域産業である農業の発展にも寄与することができた。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 道路整備 施工費・申請費	1,485,000	擁壁、舗装等
② ほ場整備 施工費	2,970,000	ほ場整備等
合計	4,455,000	

4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の取り組みの報告

(1) 取組期間 令和 3 年 7 月 29 日～令和 4 年 3 月 31 日

(2) 取組の趣旨

当社は事業高度化・効率化の取り組みとして ICT 施工機器の導入を昨年度以前に実施している。これらの運用をしていくことで現場管理業務の負担軽減、作業の効率化および安全性の維持による作業員業務の負担軽減を図る。以上の取組により就労環境が改善され新規雇用にも繋がると考える。

(3) 活動の概要

ICT 導入・活用を実施し、業務効率化を図るため、測量機器などを適宜・迅速な使用ができるように維持する。

(4) 主な活動の詳細

① 設備の充実を図るため保守点検やリースを実施

ICT 関連設備

- ・0.7m³ 級バックホウ (ICT 仕様) 1 台 (CAT320)
 - ・測量機器 (自動追尾型) 4 台 (トプコン LN-150)
 - ・3 次元データ作成用及び関連ソフトウェア 1 式 (建設システム SiTECH 3D)
- 上記機器の維持管理を実施した。



(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
(4)① 重機点検等費用	95,150	0.7m3 級バックホウ(ICT 仕様)1 台 ※特定自主検査等
(4)① 測量機器点検等費用	377,932	測量機器(自動追尾型) 4 台 ※校正費用等
(4)① ソフトウェア保守料	140,360	ソフトウェア(SiTECH 3D) ※利用料、サポート料等
合計	613,442	

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計(円)
令和3年度	120,000	4,455,000	613,442	5,188,442
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				
令和8年度				
合計				5,188,442

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額(1)	32,983,270
調停条項で定めた令和3年内支払い額(2)	2,642,011
調停条項で定めた分割支払い分総額(3)	8,245,817
(1)と(2)及び(3)の差額	22,095,442